

初雪のふる日

安房 直子 作

寺門 孝之 絵

【第一場面】

◇時

- ・ 秋の終わりの寒い日

◇場所

- ・ 村の一本道

◇登場人物

○小さな女の子

- ・ 石けりの輪を見つけた。
- ・ 石けりをすると体が軽くなつて、ゴムまりみたいにはずんできた。
- ・ 進んでいった。

○店番のおばあさん

- ・ 女の子に「おや、元気がいいねえ。」と言った。

○大きな犬

- ・ 歯をむき出しにしてほえた。



【第二場面】

◇時

- ・ バスの停留所の辺りまで来たとき

◇場所

- ・ バスの停留所の辺り

◇登場人物

○小さな女の子

- ・ あせをびっしよりかいてとんでゆく。

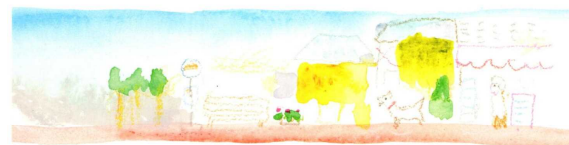
- ・ 帰ろうとした。

- ・ うさぎの列を見てびっくりした。

- ・ うさぎの言葉を聞いてドキッとした。

○真っ白いうさぎ

- ・ 一列になってとんでいた。
- ・ 「雪をふらせる雪うさぎ」と言った。



【第三場面】

◇時

- ・ 初雪のふる日
- ・ あのと き

◇場所

- ・ 北の方
- ・ 世界の果て

◇登場人物

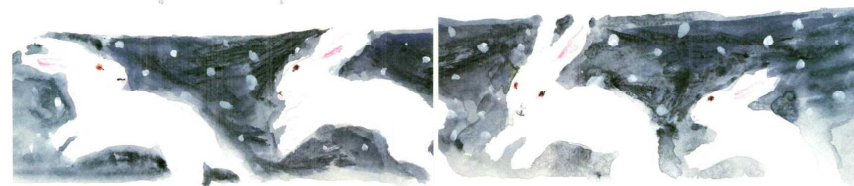
- おばあさん
- ・ うさぎのむれにまきこまれない
よう話をした。

○小さな女の子

- ・ なんとおそろしい話だろうかと思
った。
- ・ うさぎの列から出ようとしたが
出られなかった。

○うさぎ

- ・ 女の子を止まらせなかった。



【第四場面】

◇時

- ・ あのと き

◇場所

・

◇登場人物

○ おばあさん

- ・ おまじないを教えた。

○ 小さな女の子

- ・ 春のことを考えながらおまじないを言いかけた。

- ・ よもぎのおまじないを唱えることができなかった。

○ うさぎ

- ・ 自分たちの歌を歌いだした。



【第五場面】

◇時

・

◇場所

・ これまで一度も来たことのない

遠い所

・ 谷間の村

・ 小さな町

・ 大きな町

◇登場人物

○ 小さな女の子

・ だれにも気づかれない。

・ おまじないが唱えられない。

・ 手足はかじかんで、ほほは青ざ

め、くちびるはふるえていた。

○ うさぎ

・ 歌を歌い続ける。



【第六場面】

◇時

- ・このとき

◇場所

- ・

◇登場人物

○小さな女の子

- ・よもぎの葉を拾い上げた。
- ・だれかにはげまされているような気がした。
- ・なぞなぞをさげんだ。
- ・だんだん温かくなった。
- ・むちゅうでさげんだ。

○草の種

- ・葉を通して女の子に伝えた。

○うさぎ

- ・なぞなぞを聞いて足取りが乱れた。
- ・すっかり喜んで歌い始めた。



【第七場面】

◇時

- ・ 気がついたとき

◇場所

- ・ 知らない道

◇登場人物

○小さな女の子

- ・ たった一人でとんでいた。
- ・ 手の中のよもぎの葉も消えていた。
- ・ 「助かった。」と思った。
- ・ 足がぼうのようで動かなかつた。

○町の人々

- ・ 名前や住所をたずねた。
- ・ 信じられないと言った。

○年より

- ・ 「白うさぎにさらわれそうになったのだ。」と言った。



【第八場面】

◇時

- ・日のくれないうち

◇場所

- ・町の食堂

◇登場人物

○小さな女の子

- ・バスで送り返してもらった。

